

「便中カルプロテクチン」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、標記項目につきまして、従来のELISA法からFEIA法に変更させていただきますので、これに伴う検査内容変更をご案内いたします。

FEIA法は2017年12月から保険適用となり、従来法より適用が拡大(慢性的な炎症性腸疾患の診断補助)されています。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■対象項目/変更内容

頁	項目コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	
-	7068	便中カルプロテクチン	検査方法	FEIA	ELISA	
			容器	新容器は本案内3頁をご参照下さい。		
			基準値 (単位)	50.0 mg/kg 以下 潰瘍性大腸炎の内視鏡的 非活動状態のカットオフ値 300 mg/kg 以下	潰瘍性大腸炎の病態把握 のカットオフ値 240 μ g/g	
			所要日数	4~9日	7~11日	

※その他の検査要項に変更はございません。検査要項の詳細は裏面をご参照下さい。

■变更日期

- 2018年1月10日(水)受付日分より

便中カルプロテクチン〔FEIA〕

炎症性腸疾患の診断補助、潰瘍性大腸炎の病態把握に有用な腸管炎症マーカーです。

便中カルプロテクチンは、腸管の炎症度を反映する非侵襲性のマーカーです。これまで、保険適用範囲は「潰瘍性大腸炎の病態把握の補助」に限られていましたが、FEIA 法で測定した場合、「慢性的な炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎やクローン病等）の診断補助」としても使用可能となりました。炎症性腸疾患が疑われる症例について腸管炎症の有無を判別することで、より効率的な内視鏡検査の実施および診断に貢献することが期待されています。

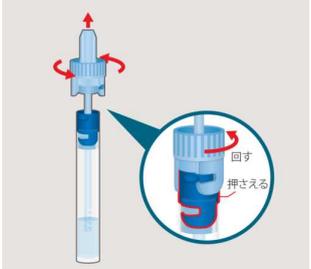
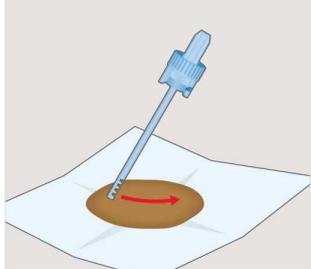
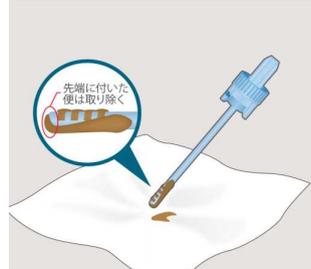
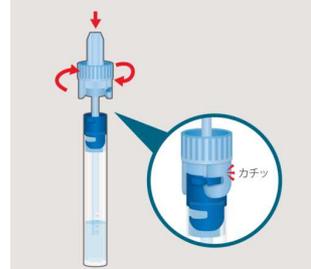
■検査要項

項目コード	7068
検査項目名	便中カルプロテクチン
検体量	糞便
容器	便中カルプロテクチン用容器（容器形態:F30）
保存方法(安定性)	必ず凍結保存して下さい（28日）
検査方法	FEIA
基準値	50.0 mg/kg 以下 潰瘍性大腸炎の内視鏡的非活動状態のカットオフ値：300 mg/kg 以下
所要日数	4～9日
実施料	276点*（「D014」自己抗体検査「27」カルプロテクチン(糞便)）
判断料	144点（免疫学的検査判断料）
備 考	<p>他項目との重複依頼は避けて下さい。</p> <p>* 算定留意事項</p> <p>ア カルプロテクチン(糞便)は、区分番号「D014」自己抗体検査の「27」抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体(MPO-ANCA)の所定点数に準じて算定できます。</p> <p>イ 本検査は、慢性的な炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎やクローン病等)の診断補助を目的として、FEIA 法により測定した場合に算定できます。ただし、腸管感染症が否定され、下痢、腹痛や体重減少などの症状が3月以上持続する患者であって、肉眼的血便が認められない患者において、慢性的な炎症性腸疾患が疑われる場合の内視鏡前の補助検査として実施して下さい。また、その要旨を診療録および診療報酬明細書の摘要欄に記載して下さい。</p> <p>ウ 本検査は、潰瘍性大腸炎の病態把握を目的として、ELISA 法またはFEIA 法により測定した場合に、3月に1回を限度として算定できます。ただし、医学的な必要性から、病態把握を目的として、本検査を3月に2回以上行う場合(1月に1回に限る。)には、その詳細な理由および検査結果を診療録および診療報酬明細書の摘要欄に記載して下さい。</p> <p>エ 慢性的な炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎やクローン病等)の診断補助または潰瘍性大腸炎の病態把握を目的として、本検査および区分番号「D313」大腸内視鏡検査を同一月中に併せて行った場合は、主たるもののみ算定できます。</p>
検査委託先	エスアールエル（→5）

■参考文献

松岡克善, 他: 医学と薬学 74(6):717-726, 2017. (臨床的意義参考文献)

■便中カルプロテクチン用容器の取り扱い方法

容器形態	便中カルプロテクチン用容器	検体採取後の保存	
		凍結	
<p>F30</p>  <p>内容 トリス緩衝液 BSA アジ化ナトリウム (0.1%以下) 貯蔵方法 冷蔵 有効期間 1年</p>	採取方法		
	 <p>1. キャップの青色部分を押しえながら、その上の水色部分を左に回し、スティックを引き抜きます。</p>	 <p>2. スティック先端の4つの溝が、十分に埋まるように便をこすり取ります。</p>	
	 <p>3. スティックの先端についた便をトイレトペーパー等で取り除きます。</p>	 <p>4. スティックを容器に差し込み、キャップの水色部分が青色部分にカチッと合まるまで右に回します。</p>	
	<p>●注意事項 容器中の保存液が、目や口に入ったり皮膚に付着したりしないようご注意ください。誤って付着した場合は水で十分に洗い流してください。</p>		